



第
4
号

かしま まさおの

月刊ねりまタイムズ

発行責任者：練馬区議会議員 鹿島正雄（自由民主党1期）

練馬区南大泉3-9-22 TEL：03-6904-4363 HP：<http://kashima-masao.com>

地域の安全安心にむけて!!

千葉県我孫子市で発生した小学3年生の女儿が犠牲になった事件に、心を痛めている方が多いと思います。また同時に、子育て世帯の皆さまから「ご自身のお子様の安全確保に大きな課題を感じている」というご意見を頂く回数も多くなってきました。



我々、自民党は「防犯カメラを積極活用した地域の安全安心作り」にこれまでも力を入れてきました。

防犯カメラの設置により、犯罪率が低下したというデータは日本のみならず世界各国で報告されています。そういった犯罪抑止効果だけでなく、万が一、犯罪が発生した場合、スピーディーな犯人検挙に防犯カメラが果たす役割は日に日に大きくなっています。

今回は、これまでの成果と今後の取り組みについて、紹介させていただきます。

自民党がすすめてきた「これまでの取り組み」

- ・ 区立小中学校の校内に防犯カメラを設置 (各校4-5台) ⇒ 不審者の侵入を防ぐため。
- ・ 区立小中学校の通学路に防犯カメラを配備 (各校5台) ⇒ 区内には全部で99校の区立小中学校があり、1校あたり5台の防犯カメラを各校の通学路に配備しました。(平成29年3月完了)

自民党が強化する「これからの取り組み」

- ・ 町会自治会や商店会など区内各種団体が防犯カメラを設置する際の補助を増額
⇒ 防犯カメラを設置するには、1台あたり約60万-100万円の経費がかかります。区はこれまで自主的に防犯カメラを設置する団体に対し、その費用の6分の5を補助する施策をすすめてきました。(都/区補助の合計)
今年度は補助を12分の11まで増額し、各団体の自主的な設置をさらに促進します。

- ・ 区立公園に防犯カメラを設置するモデル事業を開始
⇒ 警視庁が平成27年に発表したデータによると、都内における13歳未満の児童に対する性犯罪のうち13.9%が公園内で発生しています。区では今年度、イタズラや迷惑行為などの発生率が高い、区立公園6園にモデル的に防犯カメラを設置する事業を開始します。
公園への防犯カメラの設置に取り組んでいる自治体は都内でも少ない中で練馬区が先進的にモデル事業でしっかり成果を上げ、区内各公園への増設につなげたいと考えています。

子どもたちの命を守り、地域の安全安心を加速するため、引き続き、しっかりと取り組みを進めてまいります!!



『公約』 続々実現させています!!

若さと発想力、サラリーマン出身の視点を生かして

『区政に新しい風』を吹き込みます

① 区政に民間の経営感覚を。

- ◇議員定数の適正化
- ◇政務活動費の完全公開
- ◇議員の交通費を定額支給から実費支給へ。

② 利便性アップで街に活力を。

- ◇西武池袋線・新宿線の高架化
- ◇大江戸線延伸の早期実現
- ◇区内wifi環境の整備

③ 東京一魅力ある練馬へ。

- ◇災害対策を万全に
- ◇総合的な子育て支援
- ◇安心して暮らせる医療・介護体制づくり
- ◇農と高の融合促進で新たな価値を創造

28歳の挑戦!!

鹿島 正雄
プロフィール

練馬生まれ
練馬幼稚園、
暁星小・中・高、
早稲田大学政治経済
学部 政治学科 卒業

日本航空(株) 勤務
(平成26年退社)

しがらみのない公募で
選ばれた、自民党で唯一
サラリーマン出身の新人候補
詳しくは「かしまさお」
で検索ください。

自民党
28歳
かしま
まさお

左は2年前の区議会選挙に初めて立候補した際に、お約束させて頂いた選挙公報(公約)です。

実現しました (一部をご紹介します)

① 政務活動費の完全公開

⇒政務活動費をめぐる不正が各地で問題となり、世間の皆さまの政治不信を招く事態が続きました。私、かしまさおは「政務活動費の完全公開」を公約に掲げており、政務活動費の使途・金額を自身のホームページで全て公開してきました。

これまでは練馬区議会の中でも、政務活動費を公開している議員は一握りでしたが、

今回、使途金額を各会派ごとにまとめ、区のホームページで公表していくことで、合意ができました。区民の皆さまからお預かりしている貴重な税金を何にどのように使っているかをお示しすることは、非常に重要であると感じています。平成28年度の政務活動費についても、集計が終わり次第、この「ねりまタイムズ」の中で、お示ししたいと考えています。

② 定額支給の交通費を廃止へ

⇒本会議などの公務がある際に、議員に支給される「費用弁償」(交通費)が、これまで練馬区議会では1回あたり、3000円の定額で支給されてきました。

私は当選前より「この支給を実費制にするべき」と訴えてまいりました。

このたび、自民党・公明党をはじめとする各会派が議論を行い、全会一致で費用弁償の制度自体を廃止する運びとなりました。

これにより定額支給よりも厳しい「交通費ゼロ」となったワケですが、

これまでの定額支給の悪しき慣習を一掃することができ、大きな前進となりました。

③ 区内WIFI環境の整備

⇒平成29年度から3ヶ年かけて区内の無料WIFI環境を充実させていきます。

今年度は大泉学園駅デッキ・練馬庁舎・練馬文化センター・平成つつじ公園の4ヶ所への整備を行います。

自治体が無料WIFIを整備する必要があるのか、と疑問を持たれる方もいるかも知れませんが、単なる「利便性向上」だけでなく、複数のメリットがあります。

1つは『区の情報発信手段の充実』です。

インターネット接続時に区のホームページに誘導することで、区民の皆様が区政情報に触れる機会を増やすことができます。

もう1つは、『災害時の通信手段の充実』です。

災害発生時は回線混雑のため、電話が繋がりにづらくなります。

そうした場合にインターネットへの接続手段が少しでも多くなることは大きな利点です。将来的に、災害時に、区のHPと連動し、「災害特設サイト」が立ち上がるような仕組みを構築し、タイムリーな情報提供を行える環境を整えるよう、区に提案しています。



●お詫び● 「地元紹介シリーズ」はスペースの都合上、休載いたします。